

メディカル メガバンク通信

5



地域住民健康調査スタッフ



平成26年度地域住民健康調査が スタートしました！

2014年5月8日より、大槌町を皮切りに今年度の特定健診参加型健康調査がスタートしました。今年度は、田野畑村、岩泉町、宮古市、大槌町、釜石市の特定健診会場に当機構スタッフが出向きます。

昨年度より開始したIMM健康調査のご協力者は、10,000人を超えました。事業にご協力くださった皆さま、関係者の皆さまに心よりお礼申し上げます。今年度も引き続き、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



大槌町での特定健診参加型健康調査個別説明の様子

解説 !!

解析研究

① コホート研究とは？

「コホート研究」とは？

「コホート」とは「特定のヒトの集団」を意味する学術用語です。「コホート研究」とは特定のヒトの集団(例えば「20歳以上の岩手県民」)の健康状態を長期間にわたって調べ、病気の危険因子を明らかにする研究のことです。

「コホート」=特定のヒトの集団

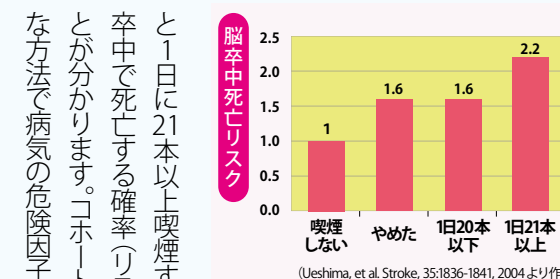
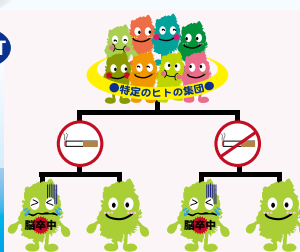


健康状態を
長期にわたって調査

例えば、喫煙が脳卒中の危険因子かどうかを調べるには、まず脳卒中にかかっていない特定の集団(「コホート」)を設定し、喫煙習慣を調べます。そして、その後何年にもわたってその集団の脳卒中の発症状況を調べます(これを「追跡調査」と言います)。最終的に、喫煙していないグループと喫煙している(または喫煙をやめた)グループの脳卒中発症率を比べることで、喫煙が脳卒中に及ぼす影響の強さを数値で表します。

START

現在 未来
長期間にわたって追跡調査



「ゲノム・コホート研究」とは？

病気のかりやすさは遺伝的な体質(遺伝要因)によって異なることが知られています。しかし多くの病気、特に日本人に多くみられるがん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病、精神疾患などの病気になるリスクは遺伝要因だけで決まるわけではありません。遺伝要因と環境要因(生活習慣や生活環境など)が複雑に絡みあって病気のリスクは決まります。ゲノム・コホート研究は、コホート研究の方法論を用いて遺伝要因と環境要因の組み合わせが病気発症に及ぼす影響の強さを明らかにする研究です。

今後、IMM地域住民コホート研究では多くの住民の皆さまのご協力のもと、病気発症に関わる遺伝要因と環境要因を調べていきます。

(臨床研究・疫学研究部門 丹野高二)

お酒と遺伝子

北国生まれの友人は自分も家族も友人も皆お酒が強いと自慢する。「ちよっと飲む」という自己申告は要注意である。

お酒の強さは、「アセトアルデヒド脱水素酵素」という名前の酵素の型で決まっているが、お酒から生じるアセトアルデヒドの分解力に応じてG型(強い)、AG型(少し飲める)、AA型(全く飲めない)の3種類の遺伝子型に分けられる。

欧米人ではほとんどがG型であり、昼にワインを飲んでも仕事に影響がない(はず)。ちなみにG型はお酒の量を飲める分、気を付けていないと飲みすぎによるアルコール依存症や肝臓病にもなりやすいので注意が必要である。

平均すると日本人の約半数は、少し飲めるか全く飲めないかであり、食文化におけるお酒の位置づけも欧米とは少し異なるかもしれない。ただし、日本の中でも秋田県と岩手県は例外的に「強い」型の人が多く、先の友人が初めて「全く飲めない」日本人を見たのはニューヨークだったという。

結論は、「酵素の型に関係なく楽しく飲む」、だとか。(に)



発行日
発行

2014年6月30日

IMMいわて東北メディカル・メガバンク機構

IWATE TOHOKU MEDICAL MEGABANK ORGANIZATION

〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町西徳田2-1-1 岩手医科大学矢巾キャンパス

電話：019-651-5110 (内線 5508/5509) URL：http://iwate-megabank.org

All rights reserved. 本書の収録内容の無断転載、複写、引用等を禁じます。

地域住民健康調査スタート!!

今年度調査対象実施市町村にお
住まいの、20〜74歳の方で、調査
にご協力いただく前に、個別に説
明をし、同意を得た方が対象とな
ります。

また、ご協力いただかなくても
不利益になることはありませんの
で、ご安心ください。



▲H25年度集団結果説明会にご参加いただいた方々からのアンケート結果。97%の方が「よかった」または「とてもよかった」と答えている。

現在、気仙サテライト、矢巾センターでの健康調査が実施されています。受診をご希望の方々に順番にご案内しています。

また、久慈・宮古・釜石の各サテライトは現在開設に向けて検討と準備を行っています。



両手と両足の血圧の差の比較や脈波（血液の流れの伝わりやすさ）の伝わり方を調べることで、血管年齢、動脈硬化の程度および早期の血管の病気を知ることができます。

血管での血液の流れの程度は、

AB₁（足関節上腕血圧比）で示します。AB₁は足首と上腕の血圧を測定し、その比率を計算したものです。AB₁の測定値が0.9以下の場合、症状の有無にかかわらず足の血管の動脈硬化が疑われます。



baPWV値 ↑ 心血管病リスク ↓

baPWV値	心血管病リスク
1400	低
1700	
2000	高

特に、A B I が著しく低値の場合、下肢の比較的大い動脈が慢性的に詰まり、足が冷たい感じや歩くとお尻や大腿の外側が痛む「閉塞性動脈硬化症（A S O）」が疑われ、進行すると足先が壊死してしまうことでもあります。

欧米の研究では、A B I 値が1.0未満の患者さんでは、A B I 値1.0以上の患者さんに比べ、心臓病による死亡率が2倍以上になることが明らかにされています。つまり、A B I 値は血管の病気だけでなく、将来の動脈硬化の進行を予測する指標となります。

一方、動脈硬化の進展を評価できる**脈波伝播速度**（P W V、cm／秒）の値は、動脈硬化の進行とともに速くなることが知られています。P W V が高値の場合、動脈硬化が進行している可能性があります。

欧米の研究では、 $AB\bar{I}$ 値が1.0未満の患者さんでは、 $AB\bar{I}$ 値1.0以上の患者さんに比べ、心臓病による死亡率が2倍以上になることが明らかにされています。つまり、 $AB\bar{I}$ 値は血管の病気だけでなく、将来の動脈硬化の進行を予測する指標となります。

BNP は脳性ナトリウム利尿ペプチドというホルモンで、主に心臓から血液中に分泌され、水やナトリウムを尿として排泄する強力な作用や血管を広げる作用を持っています。IMMいわて東北メディカル・メガバンク機構では血液中の **BNP** の一つである **NT-proBNP** を測定しています。

心臓は賢い臓器で、心不全などで心臓への負担がかかると、BNPを分泌し、心臓への負担を軽減しようとします。つまり、全身をめぐる血液量を減らせば、心臓が送り出す血液量が減り、負担が軽くなります。この原理を利用し、BNPを測定することにより、心臓への負担の程度を知ることができます。

NT-proBNPの値は高ければ高いほど心臓の働きが低下している可能性が高まります。

一般的に、NT-proBNPの値が900pg/mL以上の場合、心臓病の可能性が高く、医療機関への受診が勧められます。

現代は、食生活やストレス、肥満などの影響で、実年齢よりも血管が年を取っている人が増えていると言われています。これらの検査を受けることで自分の「血管年齢」がわかります。自分の今の健康状態を知ることが病気予防の第一歩です。



(監修:地域連携・医療情報ICT部門 佐藤 衛)

研究補助スタッフは、メガバンク事業の影の立役者。健康調査会場で皆さまからご協力いただいた検体(血液や尿)をその場で処理し、速やかに解析研究に取り掛かれるように下準備をします。特に血液の処理には時間制限があり、四国4県分の広さに匹敵する岩手県での検体輸送をスムーズに行うため、IMMの研究補助スタッフは抜群のチームワークで日々作業を行っています。



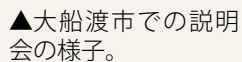
久慈サテライトは、久慈市の旧アレン国際短期大学学生ホールに決定し、現在7月中旬の開設に向けて会場準備やスタッフのトレーニングを行っています。

健康調査の詳細や申込方法などは、ご希望の方々に順番にご案内させていただきます。

▲新たに認定された千葉さん(左)と大森さん(右)

GMRCは、遺伝子やゲノム解析研究についての知識をもった専門職であり、ゲノム研究を支援するスタッフです。今年度MMでは、新たに2名をGMRCとして認定しました。今後、健康調査だけでなく、各市町村や関係各所との調整役も務めます。MM健康調査を率いるリーダーとして大いに活躍が期待されます。

本年度新たに2名が認定されました



参加いただきました。
説明会ではI・Mの教員が結果報告書の
見方などを説明。参加した皆さまの健康へ
の興味、関心の高さが感じられました。
ご参加いただいた皆さまに心より感謝申
上げます。

参加いただきました。

H25年度特定健診参加型健康調査
各地で集団結果説明会実施

H25年度特定健診参加型健康調査